

人マート・エイごング心の健康楽習会から

とです。年を重ねるということは、より豊かになることで素晴らしいこ

私たちはどう歩んでいくのでしょう。
少子高齢化と人口減少、単身化が進んでいる超高齢社会の中、処し、個人・社会が知的に成熟していくことです。
ルジャエイジング」とは異なり、年を重ねることの変化に賢く対スマート・エイジングとは、高齢期を認めたくないという「アスマート・エイジングとは、高齢期を認めたくないという「ア







Vol. 53







復興と感謝の五縁まつり

全 国から駆けつけていただいた 8000人を超えるボランティアさんや地元の皆さんなど、こ 回の縁が末永くつながっていくこ 回の縁が末永くつながっていくこ を願って、11月4日、小川小学 とを願って、2000人を超えるボランテ

とができました。田万川地域の魅力を再発見するこ絵手紙作りなどを通じて、須佐・弥富のそば打ち、赤米のリース、ホーリークショップでは、唐津焼や、

す。を元気にしようと願った「もれれれれば、 に花植えをし「被災地を花で飾ろう」と一つずつメッセージを添えて仮設住宅や被害の大きかった特別養護老人ホーム阿北苑や小川小学校、育英小学校に届けました。またミニSLの乗車や魚釣りゲーム、ヨーヨー釣り、足つぼマッサム、ヨーヨー釣り、足つぼマッサム、コーヨーションドトリートメント、食事のコーナーではカレーライスや



害ボランティアとして駆けつけた どが地域のボランティアさんや災 方々から提供されました。 綿菓子、 フランクフルトな

社会は大きく変化しています。 という言葉が生まれるなど、 れています。そして「無縁社会」 まで地域社会を支えていた縁が薄 ◇プ、私たちの地域社会では、血縁、 今年の夏、 地縁、社縁…、といったこれ 酷暑の中で汗を流し

を目にし、 られませんでした。 や地元の方同士のたくさんの出会 ティアの方々、 ながら無償の奉仕作業をされる姿 いがありました。人とひととのつ がりと温かさに感謝せずには 地域住民の方とボラン ボランティア同士











比大な被害をも

被災後すぐに、被災 ことのないような大 28日の記録的豪雨は これまで経験した 」と表されました。 たらした7月

が名前を入れ、最後に小学生に飾付けをし しずつ町は落ち着きを取り戻しています。 生活応援センターでは、 あの大災害から4か月余り経過し、 支援物資を全国各地からいただきまし 習字クラブの方 森林組合の方か

宅の入居者に届けました。これから集会所 ながれた表札を子どもたちと一緒に仮設住 て仕上げてもらいました。 11月には、こうしてたくさんの方々でつ

当ださんの声を に復旧・復興に向ら、皆さんと一緒 援をいただきなが と連携し、また応 の方々や関係機関 る予定です。 で茶話会も行われ

地域の福祉あれ

世界の子どもたちに笑顔を

められ、 とね~」と、話をしながら楽しく進 ミ袋で30袋以上もありましたが 業をしていただきました。大きなゴ -やっぱり外に出て皆と活動しない ペットボトルキャップの仕分け作 10月3日、 はぎボランティアの会の皆さん あっという間に終わりまし 萩市総合福祉センター

もたちを救う笑顔の贈り物となりま ワクチンとなり、発展途上国の子ど の売却益は、約645人分のポリオ 約10か月の間に集められたキャ 614kgにもなりました。こ



萩

地域の魅力を再発見

ャンプ場に出かけました。 もと、萩アクティビティパークオートキ |月のテーマは『地元のいいところ探 月1回開催している旭大学では、 いつもの座学をはなれ、

張した面持ちでスタートすると、たちま レーシングカートに試乗し 「免許がなくても大丈夫」と言いなが 少し緊

に利用できるいい場所が再発見できたよ なことができるなんて」と、誰でも気軽

ち笑顔に変わりました。 「場所と名前は知っていたけど、こん



に社会参加することを目的としています。 齢者が健康で生きがいをもって、積極的

8

生活相談員研修会

11/11

ひだまりの里

れあいサロンが毎週月曜日に開か域世代間交流拠点施設」では、ふ ŋ どの材料を持ち寄って、 手巻き寿司や松茸ご飯、 れるようになりました。 ができることをされています。 今年2月に開所した「むつみ地 昼食には 焼き肉な 一人ひと

突然の参加も大歓迎です。 むつみ地域のどなたでも、 けることなど、生活相談支援員と

しての心構えや役割について学び

住宅や生活支援の取り組みなどを紹介してい 佐藤大地さんから、東北大震災における仮設

ただきました。また、訪問したときに気を付

話を伺っています。

11月8日、ジャパン・プラットフォームの

された一人暮らし高齢者世帯などを訪問して どを抱えられておられます。社協では、被災

[りごとや生活のしづらさ、

雨天時の不安な

7月28日の豪雨により被災された方々は

寄り添っていきたいと思います。 支援員とともに、地域の皆さんに

今回の研修を生かし、生活相談



サロン活動

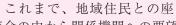
旭

皆さんの元気と笑顔が一番です。地域の文化や生活様式かよく似ている小学校区程度の小地域福祉活動推進委員会で、楽しく活動しています。

地域を元気に!

服部 和夫さん (福栄・紫福長尾/76歳)

平成22年度から3年間、小 地域福祉活動推進地区のモデ ル指定を受け、10人の委員で 活動を続けてきました。



談会の中から関係機関への要望や地域課題の把握に 努め、これを整理分析し、民生委員や福祉員、老人 クラブ、婦人会の方々と解決に向けて協議してきま した。また、一人暮らしの高齢者への誕生月訪問活 動では、一人ひとりが抱える切実な課題も見えてき ました。

指定期間の終了後は、自主活動として委員も12人 となり、継続している課題や新たな課題の解決に向 けて、行政や関係機関と共同歩調をとりながら進め ていきたいと考えています。そして、地域内で明る く元気な姿が多く見られるように活動を推進してい きます。

「笑顔」が生きがい

長尾 富子さん (須佐・弥富5区/63歳)

社協からの声かけをきっか けにふれあいサロン「ぬくも り」を立ち上げ、地元の女性 部で活動していたところ、弥 富地区福祉活動推進委員会の お世話もすることになりまし



例えば花を植えたり、野菜を作ったりするとき、 参加者の皆さんには体調に合わせた作業をして楽し んでもらっています。また、弥富地区70歳以上の方 を対象としたお買物ツアーで、皆さんに"だんらん" の場の提供をしています。

笑い声がたくさん聞こえるようになったり、年1 回位しか会えなかった人にも毎月会えるようになっ たりと、こんなことが皆さんのストレスの発散に役 立っているのだと、最近つくづく思います。そして、 皆さんの笑顔がたくさん見たくて、これからも出会 いを大切にし、自分らしく活動を続けていけたらい いなと思います。

オレンジリボン運動

2004年、栃木県小山市で3歳と4歳になる可愛ら しい兄弟が何度も父親の友人から暴力を受けていま した。そして9月11日、再度散々暴行を受け、息も 絶え絶えの状態で橋の上から川に投げ込まれて幼い 命が奪われるという痛ましい事件が起きました。

2005年、同市の「カンガルーOYAMA」という団 体が、二度とこのような事件が起こらないようにと 願いを込めて、子ども虐待防止を訴えるオレンジリ ボン運動を始めました。オレンジ色は子どもたちの 明るい未来を表し、子育てを暖かく見守り、応援す る意志のあることを示すマークです。

昨年度に全国の児童相談所では、66,807件の児童 虐待相談があり、22年間で約60倍にもなっています。

また虐待による死亡 事例は、年間50件を 超え、その8割以上 が3歳までの幼い子 どもです。



12/9 障害者の日

1975年12月9日、国際連合 の第30回総会において「障害 者は、その障害の原因、特質 及び程度にかかわらず、市民 と同等の基本的権利を有する| という障害者の権利に関する



決議が採択されました。こうして、障害のある人た ちの基本的人権に関する指針を世界各国に示し、 1981年を「国際障害者年」と定め、「障害者の日」 の制定を提案してきました。

また、1992年の国際連合の総会において、1982年 12月3日に「障害者に関する世界行動計画」が採択 されたことを記念して、毎年12月3日を「国際障害 者デー」とすることが宣言されました。

日本においては、1980年に厚生省国際障害者年推 進本部が、12月9日を障害者の日とすることを決定 しました。

善意銀行 ありがとうございます

香典返し。記事料返し。行料返し

氏 名	住 所	備考	金 額
萩			
林 幸雄	土原3区の2	母/サエ子	金一封
山根 茂伸	三見浦 5	母/ミスヱ	金一封
藤田 利男	越ヶ浜5区	母/ハルコ	金一封
金子 安正	沖原	母/里子	金一封
井上三枝子	玉江浦1区の3	夫/一良	金一封
北國 武志	見島12区	弟/伸治	金一封
木村 浩介	見島11区	父/太一	金一封
山野 勇	見島4区	父/勇次	金一封
弘中 保貴	見島5区	父/喜久男	金一封
佐伯千鶴子	松本市の2	夫/節夫	金一封
込山 ウメ	椎原の1	夫/久二	金一封
佐伯 浩二	山陽小野田市高栄	母/美智江	金一封
藤原 悟	堀内1区の1	母/重子	金一封
都志見睦生	堀内2区の4	父/久令男	金一封
枇杷木徹也	前小畑2区の3	母/諄子	金一封
山根 知之	三見浦4	父/宏一	金一封
長富 光造	北古萩1区の1	妻/靖子	100,000円
富元 正明	北古萩1区の1	父/俊明	金一封
田邊 良将	川島1区の2	祖母/西田スエ	子金一封
刀禰 光世	浜崎4区の1	母/シヅコ	金一封
中村 元次	三見浦 4	妹/本常春子	金一封
東條冨美子	上野の2	母/堀本方子	金一封
上領 和子	堀内1区の1	夫/輝一	金一封
南野美智子	米屋町の1	夫/淳哉	金一封
長谷 智隆	恵美須町の2	父/智	200,000円
中村 明	越ヶ浜6区の2	妻/康子	金一封
岸 美穂子	古萩町の1	夫/長範	金一封
三村 就之	玉江2区の2	妻/スミ子	金一封
三輪 俊秀	城東中区の1	妻/妹由美	金一封
宮内 知江	大井門前	夫/信和	金一封
吹上 正一	浜崎4区の1	母/キヌエ	金一封
飯田 光三	三見浦 4	母/ヒサコ	金一封
久保志津惠	椿町の3	夫/與次	100,000円
金築 順子	雑式町	夫/和久	金一封
田中 敦志	大島赤穂瀬先	父/又穗	金一封
細田 英生	三見浦 2	父/伊三夫	金一封
刀禰 裕	恵美須町の1	父/兼一	金一封
神田 勉	三見飯井	妻/一二三	金一封

寄付者の承認を得たもののみを掲載しています。 ※平成25年9月1日~10月31日受付分(敬称略)

氏	名	住 所	備考	金 額
蛎屋	芳已	倉江の2	父/幾蔵	金一封
田中	克佳	大井港浜の1	父/金作	金一封
中村	米子	三見浦 4	夫/茂	金一封
前田	祥子	無田ヶ原の1	夫/春樹	金一封
番屋	春吉	沖原	妻/純恵	金一封
伊藤	讓一	大島猪之坂	母/ハルコ	金一封
松本	操	見島8区	夫/力	金一封
藤原	義雄	中津江の1	妻/ヌイ	金一封
三村	初枝	無田ヶ原の3	母/綿屋スエコ	金一封
松野	吉秀	御許町の2	妻/泰子	金一封
三浦	元次	三見浦4	母/文子	金一封
Ш	上			
能美	聡	川上山田	父/毅	金一封
横山	重信	共栄	母/君子	50,000円
江舟	浩行	佐古	母/アサヨ	金一封
田	万川			
梅津	尚年	江津	妻/繁子	金一封
大谷	和男	小川5区	父/政雄	金一封
佐藤	優	静岡県富士市	父/稔	金一封
三好	景子	須佐地	父/重美	金一封
柳井	一郎	下本郷	母/チエ子	金一封
村田	智子	小川1区	父/勝正	金一封
須川	義久	小川18区	母/久子	金一封
原		小川14区	妻/スミヨ	金一封
む	つ み			
須保	元典	尾の坂	母/節子	金一封
山本	善継	尾の坂	父/隆夫	金一封
矢次		市下	妻/ミチ子	金一封
須	佐		to the t	
伊藤	正久	中畑	父/清久	金一封
松本		野頭	弟/茂	金一封
北谷		山根丁西	父/心一	金一封
	静江	上三原	夫/隆美	金一封
	秀雄		母/桃子	金一封
	信市		母/ツル子	金一封
	記久子		母/木村弘枝	
	和子		母/幸江	金一封
	和子	青葉台	父/秀夫	金一封
堀 †		入江	父/英博	金一封

伊藤	幸一	北谷	母/ツル子	金一封
吉田	満	弥富5区	母/喜美子	金一封
見戸	隆	浦中	母/君代	金一封
岩本	守生	下三原上	母/ツチヨ	金一封
旭				
河村	時也	見定下切	祖母/テルコ	金一封
永田	稔夫	小野山	父/文貞	金一封
伊藤	一示	見定下切	父/一行	金一封

佃	木			
岡百	百合枝	堂ヶ市	夫/馨	金一封
山中	茂樹	紫福長尾	父/清和	金一封
河野	忠徳	堀越	母/米子	金一封
新屋	秀雄	杉原	母/ツル	金一封
石川	明男	黒川	母/ヒサ子	金一封
山本	哲義	吉田	父/善一	金一封
白神	邦雄	鎌浦	妻/美惠子	金一封

一般富何

氏 名	住 所	備考	金額
萩			
山口銀行萩支店行員一同	東田町東区の2		180,000円
田万川			
匿名			20,000円
山本 智子(旧姓水浦)	湊		金一封
むつみ			
片俣八幡宮祭り実行委員			2,000円

氏	名	住 別	折 備 考	金 額
須	佐			
田村	雅利	青葉台	見舞返し	金一封
茂刈	百合子	横屋丁	見舞返し	金一封
匿名				10,000円
福	栄			
服部	正子	紫福長尾		20,000円

物品富付

物品名	氏 名	住所
田万川		
衣類	村田 智子	小川1区

物 品 名	氏 名	住 所
須 佐		
ポータブルトイレ	鈴川 和代	浦中

(香典返し・一般寄付合計100件4,432,000円) **善意銀行は、地域福祉活動推進の貴重な財源となっています**。**どうかご協力ください**。 前号 6 ページに、次のとおり誤りがありましたので、お詫び申し上げ、訂正いたします。

(正) 寄付者 三井 淳司様 大井浦下 (誤) 大井港下

萩 社 協 職 員 募 集

次のとおり萩市見島保育園の職員を募集します。

- ●職種·募集人員 保育士 1人
- ●受験資格 昭和48年4月2日以降に生まれた方で、保育士資格を有し、保育士の職務経験(幼稚園での教員の経験も含む)が3年以上ある方(採用後、見島に居住できる方)
- ●募集期間 平成25年12月10日(火)~ 平成26年1月10日(金)
- ●試験1・試験内容 平成26年 1 月26日 (日) 作文・面接
- ●採用予定日 平成26年4月1日
- ●応募方法 次の提出書類を郵送または持参
- ●提 出 書 類 ①市販の履歴書(写真添付)
 - ②最終学校卒業証明書
 - ③保育士証の写し
 - ※郵送の場合 当日消印有効

※持参の場合 募集期間中の土・日曜日、祝日、12月29日~1月3日を除

く午前9時~午後5時30分まで

●問 合 せ 〒758-0041 萩市江向356-3

萩市社会福祉協議会総務課

電話0838-22-2289

※萩公共職業安定所へ求人票を公開

第2回明るく、楽しい介護川柳の募集

介護の中でふと感じる気持ち、思わず笑ってしまったり、しあわせを感じたり、普段は言えないことなどの川柳を募集しています。

- ●応募締切 12月11日(水)
- ●応募数 1人3句まで(自作で未発表のもの)
- ●応募資格 市内に在住または通勤、通学している方 (介護の経験は問わない)
- ●応募方法 応募用紙は自由。(住所、氏名、電話番号を明記のこと)
- ●表 **彰** 第4回高齢者虐待防止研修会で表彰し、 優秀作品には市内共通商品券を贈呈
- ●応募先 萩市社会福祉協議会本所·各事務所

第4回 高齢者虐待防止研修会

高齢者虐待への理解を深め、高齢者や介護者を見守り、支え合う地域のあり方について皆さんで一緒に考えましょう。

- ●日 時 1月26日(日)13:30~15:30
- ●場 所 サンライフ萩
- ●講演 「介護現場における権利擁護について ~高齢者虐待と成年後見制度~」 伊勢嶋英子さん

(山口芸術大学保育学科介護福祉コース)

●問 合 せ 萩市社会福祉協議会本所・各事務所



みんなで集まって「さぁ撮るよ!」と声をかけ合った写真。 1枚1枚に気持ちが込められ、これが私の宝物。そんな気持ちにさせてくれるようなたくさんの笑顔に出会え 下瀬信雄 ました。 審査委員長



「気持ちいいねぇ!!」



「同級生4人揃ってハイポーズ」



「微笑みこぼれ」



「たんぽぽの綿とばし」



「笑顔いっぱいの宝物」





「おじいちゃん ありがとう」



「父ちゃんとの絆」



「ちょっとテレちゃいますね」



集:8月1日

最年少:20歳

最年長:93歳

賞:14作品

~9月13日

募:48名85作品

「妹たち」 2013.12.1 vol.53